



あけまして
おめでとうございます
本年も
よろしくお願ひいたします

通巻 280 号

1

2026年
月号

江津市図書館 ホームページはこちらから！

「福ぶくろ」 貸出スタート

毎年恒例となりました本の福袋企画。今年も新年開館初日からスタートしております。

どんな本が入っているかは開けてからのお楽しみ。中身の本のヒントを付けた袋と、ヒントのない袋の2種類があります。

ふだんご自身では選ばないような本と会える絶好のチャンスです。たくさんのご利用をお待ちしております。

※こちらは貸出用本の福袋となっております。

必ずご返却ください。

※袋がなくなり次第、終了いたします。

※ご返却いただければ、お一人何度でも借りていただけます。



※前回の写真です



おしゃべりOKデイのおしらせ

毎月第一日曜日に本館で開催している「おしゃべりOKデイ」。この日は館内で音の出るもの（携帯電話やゲーム機など）を使ったり、おしゃべりをしたりするのも大歓迎です。館内ではBGMを流し、子どもの部屋には音の出るにぎやかなおもちゃもたくさんご用意しています。1月は11日(日)開催です。

また、今月のOKデイでは、café KICHI plusさんのドリンクや焼き菓子の出張販売、さらに新規出店となるDr.Libralyさんの絵本やアート関連本などの出張販売も予定しています。ご来場をお待ちしております。



みはしたかこ カレンダー 予約受付中

当館キャラクターイラストや本紙連載等でお世話になっております、市内在住イラストレーター・みはしたかこさんの2026年版オリジナルカレンダーが完成しました。ただいまご予約を受け付けております。

当館では、みはしさんのオリジナルグッズや絵本を常時取り扱っておりますが、カレンダーはこの時期限定の受注販売となります。購入を希望される方は、ぜひお忘れのないようご連絡ください。お電話でのご予約も可能です。

👉本館カウンターそばに見本を設置しております



はがきサイズ 600円

※スタンド(100円)も
別途ご用意できます



A4サイズ 1200円

1月の

休 館 日



■毎週火曜日

6・13・20・27日

■年始休館日

1日(木)~4日(日)

※4日は12月末休館振替日です

■月末休館日

31日(土)

新着図書

※前月の 20 日頃までの新着図書の一部です

請求番号	タイトル	著者・監修者 他
024	老舗書店「有隣堂」が作る企業 YouTube の世界	有隣堂 YouTube チーム
159	ジャーナリングノートのつくりかた	カフェとノート
210.7	もし 12 歳が「昭和 100 年」を見たら	15 人の男たちの「子作り」のホンネのルポ ※賛否あり□
336.4	任せ方がわかりません	けーりん
367	ぼくたち、親になる	稻田豊史
371	子どもの SOS に対するサポートガイドブック	江畠慎吾ほか
498.3	長生きふくらはぎ	歌島大輔
498.3	「謎に眠い」を解きほぐす	菅原洋平
518	がんばらないコンポスト生活	江津市は「オーガニック ビレッジ宣言」をして います 服部雄一郎
544	図解でよくわかる最新電気設備	コンデックス情報研究所
593	着物リメイクパーフェクト BOOK	まるやまはるみ
595.4	週 1 回 5 分 ! 人生が変わるミラクル習慣爪トレ	はないかなこ
725.4	おいしい ! イラストレッスン クレパスで描きました	m o m o
793	心おどる花のある暮らし	池坊専宗
801.7	英語と日本語、どうちがう ?	鴻巣友季子
913.6	水は動かす芹の中	秀吉の朝鮮出兵を止めた「水神」さてどうやって ? 中島京子
913.6	みんなで決めた真実	似鳥鶲
913.6	ブラックスワン	相場英雄
913.6	刑事ヤギノメ 奇妙な相棒	松嶋智左
914.6	ねえ、ろうそく多すぎて誕生日ケーキ燃えてるんだけど	ジェーン・スー
E	いえでします !	浜田桂子
E	みえないおしごと	とくながけい
E	クリスマスのくつした	何になりたいか なんて決めなく ていいんだよ エリナー・ファージョン : 詩
K366	選ばない仕事選び	浅生鴨
K417	フェイクを見破れ !! 数字やデータのナゾをとく	山口慎太郎
K913	少年と悪魔	佐藤まどか
K913	聞こえない羽音	主人公は中学生。 虐待の日々から脱 する希望の物語 舟崎泉美
C726	マンガはうたう	細馬宏通
C	【CD】ヒア・フォー・イット・オール	マライア・キャリー
C	【CD】新しい学校のすゝめ	新しい学校のリーダーズ

■ 江津市図書館 ■

【本 館】 〒695-0011 島根県江津市江津町 995 ■ TEL (0855) 52-0551
FAX (0855) 52-0552

【桜江分館】 〒699-4226 島根県江津市桜江町川戸 11-1 ■ TEL/FAX (0855) 92-0300
開館日 : 水曜日～月曜日 休館日 : 火曜日・毎月月末日・特別整理休館日・年末年始
開館時間 : (通常業務) 午前 10 時～午後 6 時



今なら読めます！

バズり本

ここ数年、SNSや動画配信サイトなどで取り上げられた本がベストセラーになるという傾向が顕著に見られるようになってきました。

当館でも急に問い合わせやリクエストの増える本があり、調べてみると、読書系インフルエンサーが紹介したものだった、なんてことが少なからずあつたりします。



【展示中の本】



『青い壺』有吉佐和子：著

『君のクイズ』小川 哲：著

『アルジャーノンに花束を』ダニエル・キイス：著

『新版 科学がつづいた「運のいい人」』中野信子：著 ほか



みはしなかこの
月刊
シネマ

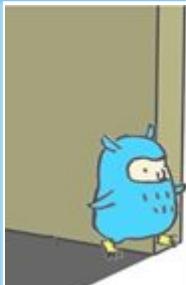


冒頭15分は意味不明だ。
SF研究会とタイムマシンヒットパッドと未来人が
入り乱れる超くだらないストーリー。なつに
妙に懐しくて少しきつねえ。
未来は変えられるのか？ 皆それを知りたいのだけ

『サマータイムマシン・ブルース』

2005年公開 107分 監督：本広克行
出演：瑛太、上野樹里 ほか

「踊る大捜査線」シリーズの本広克行監督が、人気劇団「ヨーロッパ企画」のヒット舞台を映画化したSF青春コメディ。ある日突然出現したタイムマシンを巡り、思いがけない事態に巻き込まれる学生たちの姿を軽快なテンポで綴る。



聞き耳 カシテニヨ

おや？

当館キャラクターの“カシテニヨ”が、職員たちの雑談に聞き耳を立てていますよ。今月はどんな話をしているんでしょう…？

D：最近、断捨離にハマっていて、たくさんあった過去の手帳を処分したんですよ。

A：一番に捨てようと思うのが手帳っていう時点でレベルが違う(笑)よく本に、片づけやすい所から始めましょう、まずは台所から…ってそれができない！

B：台所って捨てにくいもの多いですよね。すべて取っ掛かりなんだよな～。3分だけやってみようとか。

C：私も、過去の手帳や昔仕事で使ったノートが捨てられないですね。思い出は頭の中にあるし捨ててもいいんだけど、読んでいたら懐かしくて。

D：内容によっては、そのまま捨てるの考えますよね。シュレッダー買おうかなって思ったけど、それでまた物が増えたと思ってやめました(笑)

E：片づけの本を読むんですけど、理想と現実は違いますね。

B：服ってどうしますか？

E：たくさんあります。着るか着ないか何度も自分に問いかけて…。フリマアプリに出してもなかなか売れないから片づかないんですよね。

C：知り合いの人が、服を1着買ったら1着必ず捨てるって言っていましたよ。私はできないですが(笑)

B：買って満足しちゃうんですよね～。

A：そうそう。袋のまま同じ服が何枚も出てくる(笑)

D：そろそろ年末(12月収録)ですが、皆さん大掃除はされますか？

E：私の実家は毎年必ずする家なんんですけど、年末年始風邪をひいちゃって困ったことが(笑)

B：病院も開いてないから大変だよね。

A：やっぱり気候の良い時に掃除するのが一番よ。年末はゆっくりした方がいい！

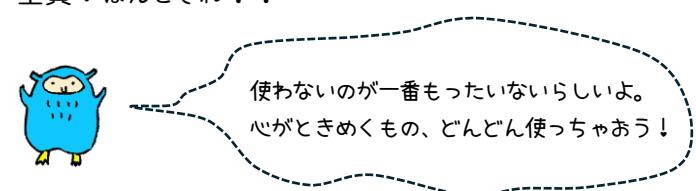
B：でも、あまりに何もない部屋よりは、多少物がある方が私は落ち着くな～。

D：断捨離の目的って、無理に物を捨てるんじゃなくて、自分の気分が上がるような心地いい空間を作ることらしいですよ。

E：なるほど～。無理に捨てなくていいんですね。

A：それじゃあ、ときめくものが多すぎて捨てられないってことで！

全員：ほんとそれ！！



＼今月のおすすめ本／

『人生が変わる1日1つ断捨離』(597)

『こんまり流今よりもっと人生がときめく77のヒント』(597)

『フランス人は10着しか服を持たない』(590)

今年のNHK大河ドラマは豊臣秀吉の弟豊臣秀長を主人公に展開されます。秀吉は、戦国期を舞台とした小説やTVドラマの主人公として数多く登場してきましたが、弟秀長については読者や視聴者の認知度は低いようです。

堺屋太一氏の小説(参考文献参照)によると、秀長は、秀吉が天下人にまで昇りつめるにはなくてはならない人物として描かれます。兄弟ともに百姓から身を起こし、秀長は百姓の人生を送ろうと考えていましたが、兄に懇願されてしぶしぶ家来になります。

秀吉は、織田信長家臣団の中で異例の出世をしますが、信長に評価されるために無茶なこともあります。並み居る信長家臣が無理だと諦めるようなこと(墨俣城の一夜城建設伝説など)を率先して行いました。その陰では、秀長の働きが大きかったようです。家来の不満をなだめたり、秀吉が留守の時の城を守ったり、裏方として調整能力が優れていました。これが織田家での秀吉の出世に結びつきました。

秀長は、№1を望まない、兄を支える№2に徹した武将でした。

（参考文献）『豊臣秀長ある補佐役の生涯上 下巻』（堺屋太一）